

◎JGTC第4戦「HOKKAIDO GRAN GT CHAMPIONSHIP」 ”モジュールピットワークZ”今季初優勝飾る！（7/18）

7月17、18日、JGTC第4戦は北海道・帯広市近郊の「十勝インターナショナルスピードウェイ」で開催された。

GT500クラスは、17日の予選で、#22「モジュールピットワークZ」はハンディウエイト30kgを積んでの予選出走だったが3位を獲得。ポールは#3の「G'ZOX・SSR・ハセミZ」(MOTUL)、2位はカルソニックIMPUL ZとZが1-3位を独占する。

決勝当日、3位からスタートした#22の影山は気迫のこもった走りで2周目に3位から2位にアップ。序盤は#37スーブラの激しい追撃に動じることもなく、隙のないドライビングを見せた。

ピット作業も迅速に終えた#22ミハエル・クルムは、2位をキープするが、トップの#3 Z金石のアウトラップで前に出ると危なげない走りで首位を独走。

最終ラップの89周目には、#6スーブラが猛然とダッシュを掛けてきて、#3を抜いてクルムの背後に迫ったが、振り切ってトップでチェッカーを受けた。

#22「モジュールピットワークZ」がトップ、#3「G'ZOX・SSR・ハセミZ」が3位に入ったため、表彰台の1位と3位をZが占める結果となった。#18「TAKATA童夢NSX」(MOTUL)は8位。

また優勝した#22、影山は今回の優勝がJGTC通算7勝目となり、最多勝利ドライバーとして記録されることとなった。

一方#1「ザナヴィNISMO Z」は10番グリッドからスタート。中盤#8NSXと接触、ピットインするが、ダメージが大きくなりタイヤとなった。

GT300クラスは、#16「M-TEC NSX」(MOTUL)が確実に上がっていき2戦連続2位獲得で、ランキングトップを堅持、3位にポールスタートの#81「シーウエストダイシンアドバンZ」(MOTUL)が入った。



Copyright © NISMO

